

創

—第89回—

市制100周年 別府のグランドデザイン

別府というまちの知名度は抜群です。全国どこに行っても「べっぷ」と言えば必ず羨望の眼差しで見られます。「新婚旅行で行った」「修学旅行で行った」という思い出話を聞く事もできます。

近年は世界中に別府の知名度が広がっています。おかげで私も様々な会に呼ばれ、時には今後の日本の方向性を定める会のメンバーに選ばれる事もあります。改めて別府の凄さを実感します。

少子化により国力が低下し、かつてのやり方も制度疲労を起こしています。しかし根本的な問題解決がこの国は苦手だなと思います。根本治療の為に例えば法を変える。これは既得権益者の生活を脅かす事になりかねないので慎重になるのは理解できます。特区制度等をもっと積極的に



別府市長
長野 恭紘

活用し自治体のやる気に任せてみてはどうかと思います。これはテクニックというか制度の話です。もっと大事なものは「何のためにやるのか」「どこを目指しているのか」という大きな視点です。

人口を増やせば幸せになるの？人口が減ることは全て不幸な事なの？という問いに対する明確な答えがない中でテクニックだけで乗り切ろうとする歪みが生まれます。「何を目指しているか」が明確であれば賛否はあっても良い議論が生まれると思います。

来年の別府市制100周年。この契機に市民の皆さんとこれから先の別府の100年へ、大きなグランドデザインを描けたらとワクワクしています！

(10月10日執筆)



フォトべっぷ



新たなアート作品の常設—9月22日、北浜公園で「ウォータータワー10」の点灯式が行われました。別府らしく、温泉を貯蔵するタンクや竹の節のにも見え、訪れた人は色々な角度から写真を撮って楽しんでいました。



伝統の地で別府をPR—9月17日、東京都中央区の明治座で公演中の純烈に、市の特産品をプレゼントし別府をPRしました。また、館内に観光案内ブースを設け、竹製品などを販売し、来場客に別府温泉の入浴剤を配りました。



アートのまち「別府」—9月23日～25日に、アーティストと出会い、活動を支援する場としてアートフェアが開催されました。会場では、来場者がアーティスト本人と直接会話しながら作品を鑑賞したり、購入するなど多くの人で賑わいました。



偉大な選手たちの輝かしい瞬間—9月10日と10月8日に、トキハ別府店屋外スペースでラグビーワールドカップ2023日本代表戦のパブリックビューイングを開催しました。4年に1度の祭典に、来場者は日本代表のプレーに大きな声援を上げていました。